

# 神戸市内景況・雇用動向調査

## 第41回 結果報告書

令和5年12月

神戸市経済観光局

1. 調査の概要	1
2. 神戸経済の動向（2023年12月）～結果の概要～	3
（1）業況	6
（2）生産・売上	8
（3）原材料・仕入れ価格	10
（4）採算	12
（5）資金繰り	14

## 1. 調査の概要

- (1) 目的・内容 市内企業の短期的な景況と雇用に関する動向を把握する目的で、市内企業に対するアンケート調査、ヒアリング調査を一連の「神戸市内景況・雇用動向調査」として実施する。
- (2) 調査対象 市内に本社のある企業2,000社（回収数643、回収率：32.2%）

	回収状況	市内本社企業			合計
		大規模	中規模	小規模	
(定義)	製造業	4	53	85	142 (400)
	食料品	1	11	10	22 (34)
	化学・石油	0	3	11	14 (42)
	ゴム	2	6	11	19 (58)
	鉄鋼・金属	0	9	15	24 (49)
	一般機械	0	4	4	8 (84)
	電信・輸送	1	8	8	17 (60)
	その他	0	12	26	38 (73)
(分類)	非製造業	11	236	254	501 (1,600)
	建設業	0	7	50	57 (125)
	運輸・倉庫業	1	14	13	28 (70)
	卸売業	0	26	31	57 (113)
	小売業	4	43	55	102 (310)
	不動産業	0	11	35	46 (111)
	情報サービス	1	7	13	21 (36)
	宿泊・飲食	3	38	10	51 (311)
	対事業所	2	58	31	91 (286)
	対個人	0	32	16	48 (238)
	合計	15	289	339	643 (2,000)

( ) 内は調査対象企業数

小規模・・・市内に本社があり、以下に該当するもの

（製造業その他）従業員数20人以下の企業

（商業・サービス業）従業員5人以下の企業

中規模・・・市内に本社があり、小規模に該当しない以下のもの

（製造業その他）資本金3億円以下又は従業員数300人以下

（卸売業）資本金1億円以下又は従業員数100人以下

（小売業）資本金5千万円以下又は従業員数50人以下

（サービス業）資本金5千万円以下又は従業員数100人以下

大規模・・・市内に本社があり、小規模、中規模のいずれにも該当しないもの

製造業（7分類）食料品等、化学・石油製品等、ゴム製品製造業、鉄鋼・金属等、一般機械器具、電信・輸送機器等、その他の製造業

非製造業（9分類）建設業、運輸・倉庫業、卸売業、小売業、不動産業、情報サービス、宿泊・飲食サービス、その他の対事業所サービス、その他の対個人サービス

(3) 調査期間 2023年12月1日（金）～2023年12月20日（水）

(4) 集計・ 報告書の数値は、DI(ディフュージョンインデックス)を用いた。

表示方法

$$DI = X - Y$$

X = 上昇・増加・過剰・改善・過大と回答した企業の割合（%）

Y = 下降・減少・悪化・不足と回答した企業の割合（%）

※DIおよび時系列比較項目については無回答を除いて集計した。

※報告書内のグラフおよび数表の値は、単位未満を四捨五入しており、回答の小計および合計値が100%にならない場合がある。

## 2. 神戸経済の動向（2023年12月）～結果の概要～

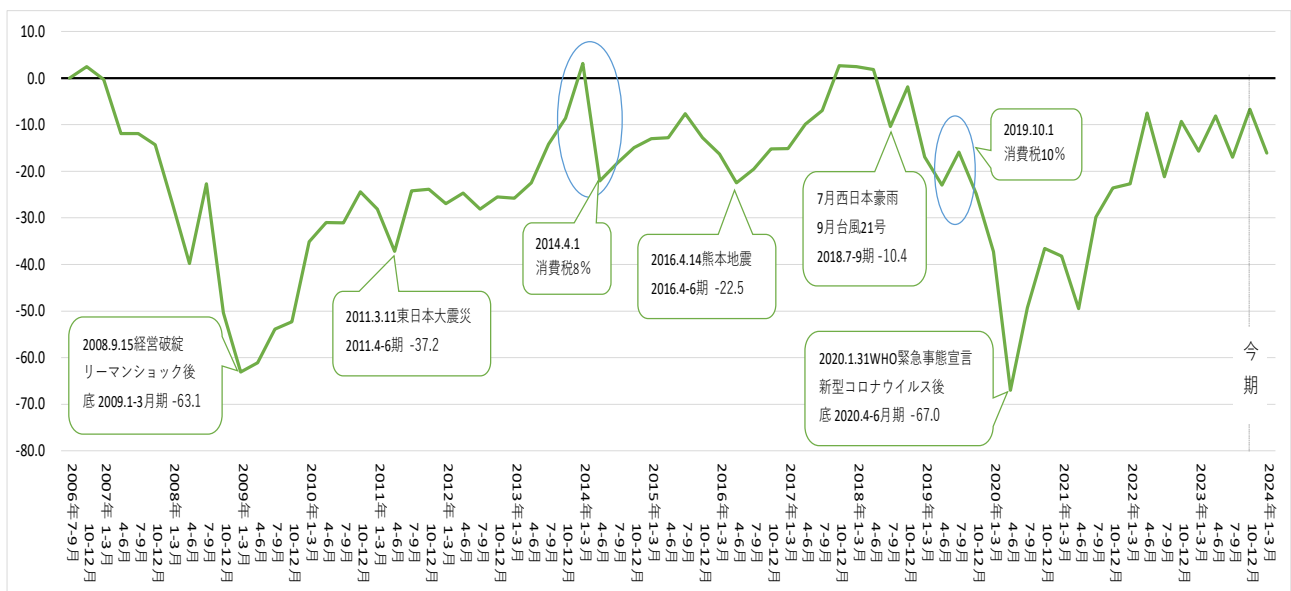
**自社業況DIは、全産業でマイナス6.7ポイントと、前期より10.3ポイントの増加**

**先行きについて、来期は低下傾向に転じる見通し**

- 今期（2023年10～12月期）の業況DIは▲6.7と、前期（▲17.0）と比べて10.3ポイント**増加**した。
- 業種別では、製造業の今期の業況DIは▲13.4と、前期（▲17.4）より4.0ポイント**増加**した。  
非製造業の今期の業況DIは▲4.7と、前期（▲16.9）より12.2ポイント**増加**した。
- 規模別では、大規模企業の今期の業況DIは6.6と、前期（▲25.0）より31.6ポイント**増加**した。  
中規模企業の業況DIは8.7と、前期（▲12.2）より20.9ポイント**増加**した。小規模企業の業況DIは▲20.4と、前期（▲19.4）より1.0ポイント**低下**した。
- 先行きについて、来期（2024年1～3月期）の業況DIは▲16.1と、今期（▲6.7）より9.4ポイント低下する見通し。

【調査対象】 市内企業2,000社（回収数：643社、回収率：32.2%）

【調査時期】 2023年12月1日（金）～2023年12月20日（水）



区分1	区分2	業況DI（上昇－下降）		
		2023.7～9	2023.10～12	2024.1～3 （予測）
全体		-17.0	-6.7	-16.1
規模別	大規模	-25.0	6.6	-26.7
	中規模	-12.2	8.7	-3.8
	小規模	-19.4	-20.4	-26.3
業種別	製造業	-17.4	-13.4	-17.6
	非製造業	-16.9	-4.7	-15.7

【業種別動向】(前期:令和5年7月~9月期、今期:令和5年10月~12月期、来期:令和6年1月~3月期)

区分1	区分2	前期	今期	来期	業種別のヒアリング対象企業のコメント
全体		▲ 17.0	▲ 6.7	▲ 16.1	以下、各業種におけるヒアリングのコメントを掲載。
製造業	食料品等	▲ 30.0	31.8	▲ 18.2	・原材料費の高騰と値上げの速度の違いに苦しい状況が続いている。(菓子製造業) ・仕入値高騰を価格転嫁できず、大手との取引を終了した為、業況は縮小したが、損益は改善。現在は新規開拓など新たな施策を検討しているが、先行きは不透明。(食料品製造業)
	化学・石油製品等	▲ 7.1	▲ 14.3	▲ 28.6	・業界内で連携する動きがあり、本来競うべき同業他社と協力して厳しい状況乗り越えている。(化学工業) ・原材料費高騰の煽りを受けて値上げに踏み切った結果、受注が減り業績は下降している。(化学工業)
	ゴム製品製造業	▲ 40.9	▲ 26.3	▲ 15.8	・在庫を豊富に備えた事でモノ不足の時期にも売上を伸ばしてきたが、近時は落ち着きを取り戻している。(ゴム製品製造業) ・値上げや円安に煽られても特に客足に変化は無く、業況も不変でいられるのはクオリティの高い仕事を心掛けて且つ結果を出している結果。(ゴム製品製造業)
	鉄鋼・金属等	▲ 18.9	▲ 58.3	▲ 37.5	・多様な商品を製造する事を強みとし、それを武器に積極的な営業を展開して業況を維持している。(金属部品製造業) ・高級半導体基板は中国での需要が失速した事で苦戦していた。今期以降は需要の回復を見込んでいる。(非鉄金属製造業)
	一般機械器具	▲ 50.0	0.0	▲ 12.5	・今期大量発注により好調で、来期も期待したいが、先行き不透明感は否めない。(生産用機械製造業) ・機器の売上の上昇以上に原材料費高騰が進んでいる為、収益環境は厳しい。(機械器具製造業)
	電信・輸送機器等	27.8	▲ 11.7	▲ 11.7	・需要の低下が続いており、来期の回復も見込めない状況である。(通信機器製造業) ・今期から来期にかけて長年取り組んできた案件が一段落する為、売上高は反転する見込み。(電気機械器具製造業)
	その他の製造業	▲ 12.5	▲ 7.9	▲ 5.3	・単価の高い案件による売上の上下はあるが、総じてコロナ禍前には戻っていない。(看板製造業) ・加工賃収入がメインとなっている為、原材料高騰の影響は避ける事ができた。(機械加工業)
非製造業	建設業	▲ 10.0	▲ 14.1	▲ 19.3	・人材の確保に苦戦しており、今の状態からの脱却は長いスパンで解決していかないといけない。(設備工事業) ・公共工事を受注している為、安定はするものの、経費が先行する事で資金需要が膨らむ。(建設業)
	運輸・倉庫業	▲ 30.3	0.0	▲ 21.4	・仕事は増加しているが、固定費も高騰しているため利益は低下。2024年問題の対応により業況回復が急務。(運送業) ・今期は経費の膨らみを避けられなかったが、来期に向けての受注は回復傾向にある。(倉庫業)
	卸売業	▲ 20.9	0.0	▲ 14.0	・機器の販売と機器の施工工事を二本柱として採算をとっているが、案件少く厳しい状況。(機械器具卸売業) ・高齢化によるマンパワーの弱体化により、緩やかではあるが下降している。(各種商品卸売業)
	小売業	▲ 33.0	▲ 23.6	▲ 32.4	・仕入値の上昇分は価格転嫁できており、地域に根差した運営である為、大きな変動は見込んでいない。(コンビニ経営) ・厳しい業況であるが、同業の廃業から顧客が増加した。(機械器具小売業)
	不動産業	▲ 22.8	▲ 13.1	▲ 15.2	・家賃に大きな変化は無く、入居や退去も大きく動く時期では無いので今期・来期共に安定する見込み。(不動産賃貸業) ・賃貸収入は安定。土地取引は相場に連動する為、価格が変動する中でも過度な在庫を抱えない限り影響は無い。(不動産業)
	情報サービス	20.0	▲ 4.7	9.6	・ネットの普及に伴い、デジタル広告がだんだんと主流になりつつある。それに付帯してテレビ等の広告収入が年々減少している。(放送業) ・卸先と信頼関係を築き、価格転嫁も行った。来期は新規顧客の開拓に注力する。(ソフトウェア開発業)
	宿泊・飲食	0.0	29.5	▲ 11.8	・コロナ禍で疎遠となった顧客ではなく、新たな価値観を持った利用者に向けた営業を行う必要がある。(飲食店業) ・離れた客足を呼び戻す、あるいは新規の顧客を獲得する必要があるが回復には時間がかかる。(飲食店業)
	対事業所サービス	▲ 7.0	1.1	▲ 6.6	・顧客である工場の廃業が続いており、新規の顧客の獲得も出来ていない状況。(機械器具修理業) ・人材確保に苦戦している他、各種経費の上昇がジワジワと影響している。(人材派遣業)
	対個人サービス	▲ 20.3	▲ 2.1	▲ 8.3	・利用者数の減少が続いており、状況を打破する術が無い状態。(福祉サービス) ・コロナの反動で大量の学生を受け入れた事が上昇要因となったが、特需要素が強く、ここらしばらくはなだらかに下降して、コロナ前の業況に落ち着く見込み。(学習支援業)

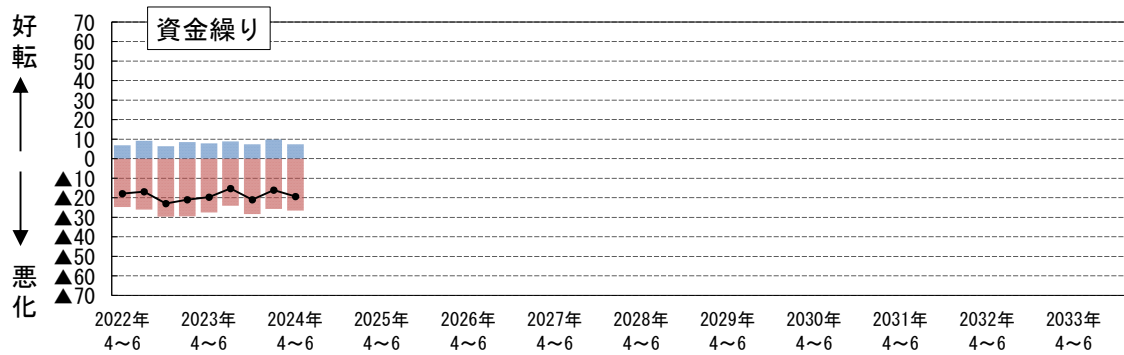
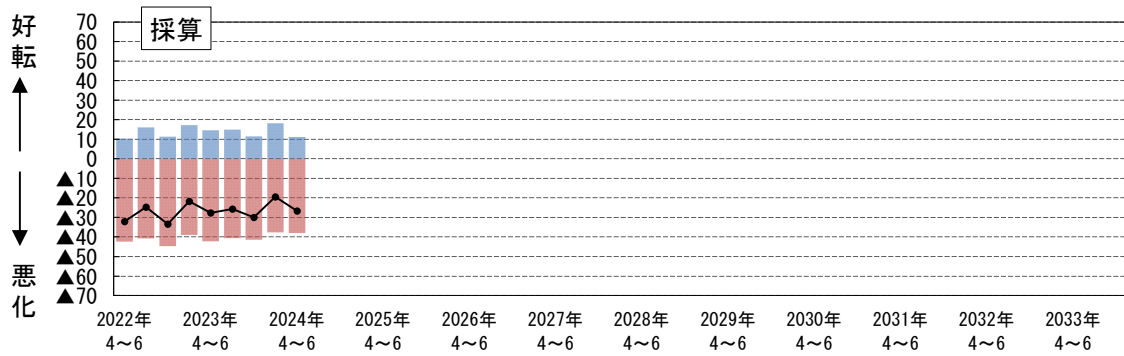
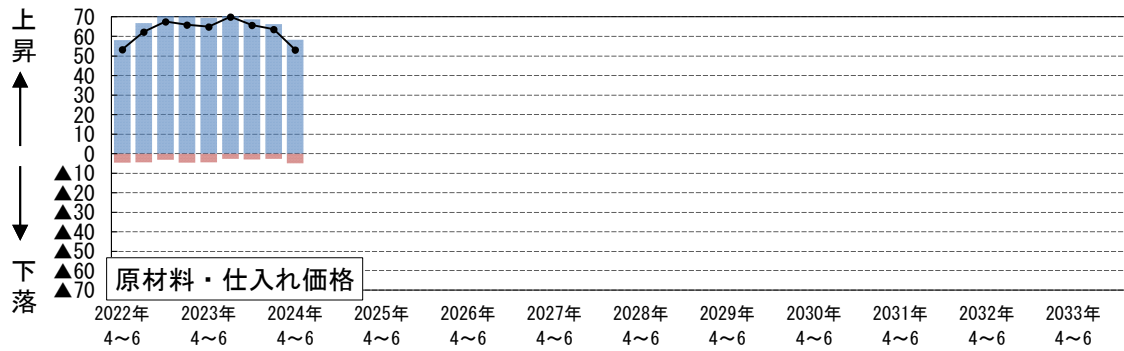
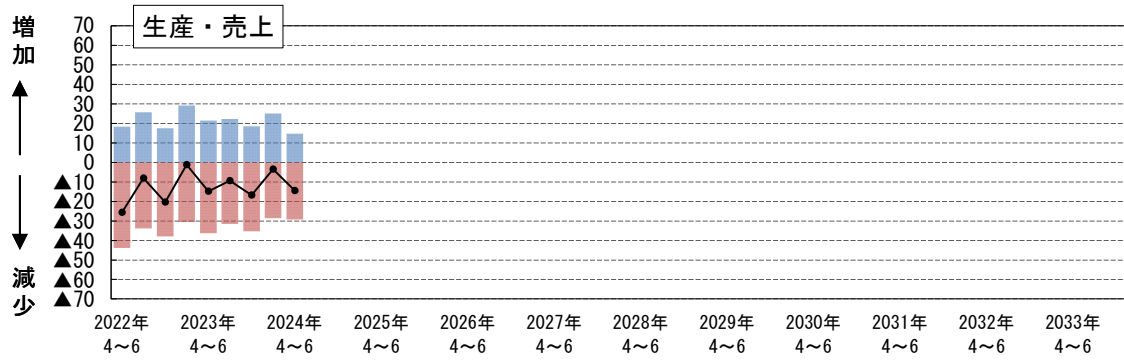
※今期のDI(全規模)が前期よりも10ポイント以上差がある業種については、矢印を表記している。  
※表中の見方は右図の通り。

← 天気マーク  
▲ 5.8 ← 業況DI

DI	▲60.1以下	▲60.0~ ▲40.1	▲40.0~ ▲20.1	▲20.0~ ▲5.1	▲5.0~ 5.0	5.1~ 20.0	20.1以上
天気							

(参考資料)

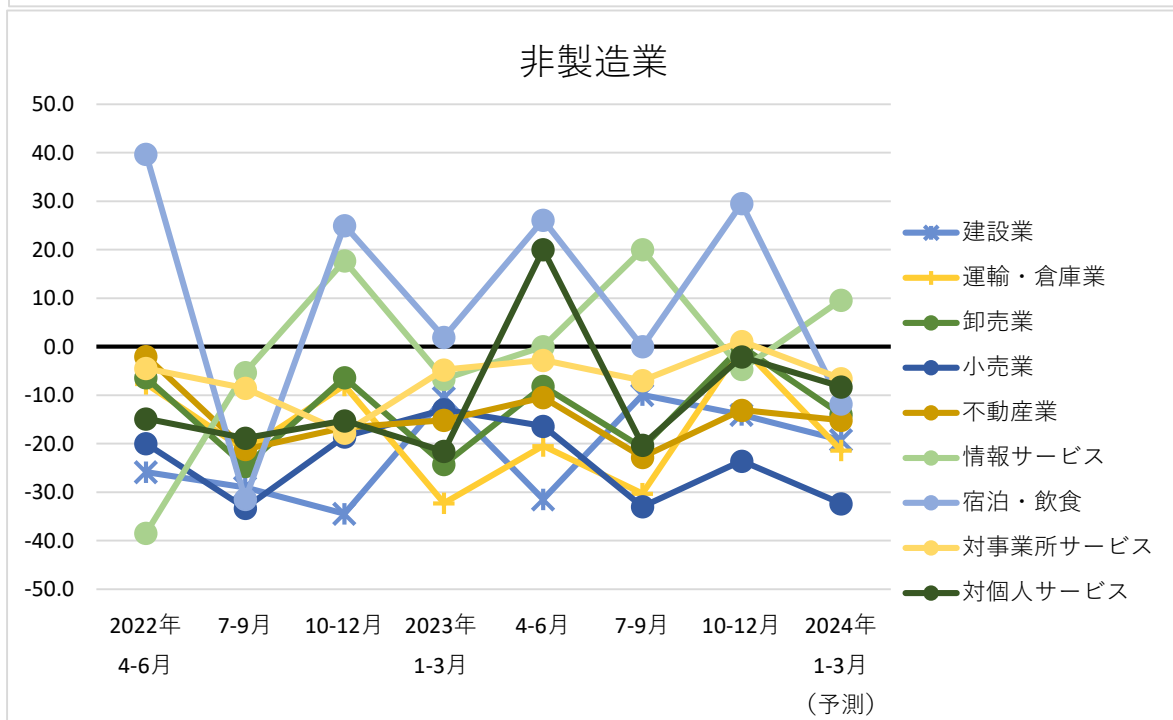
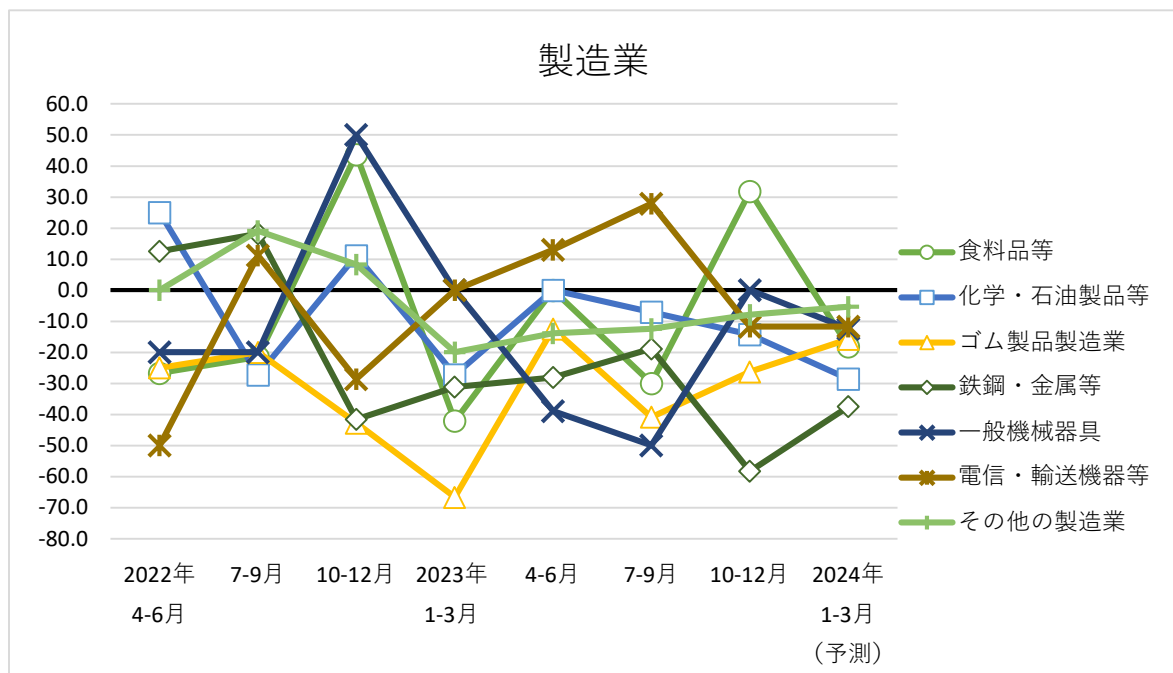
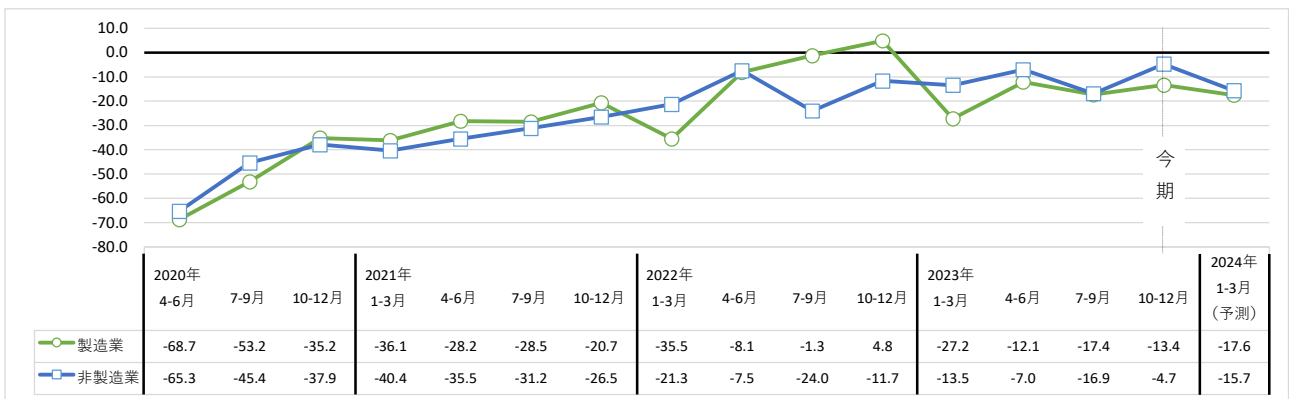
主要指標の推移



(1) 業況

「各四半期の業況が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

\*各期の指標 (DI) = 「上昇と回答」 (%) - 「下降と回答」 (%)



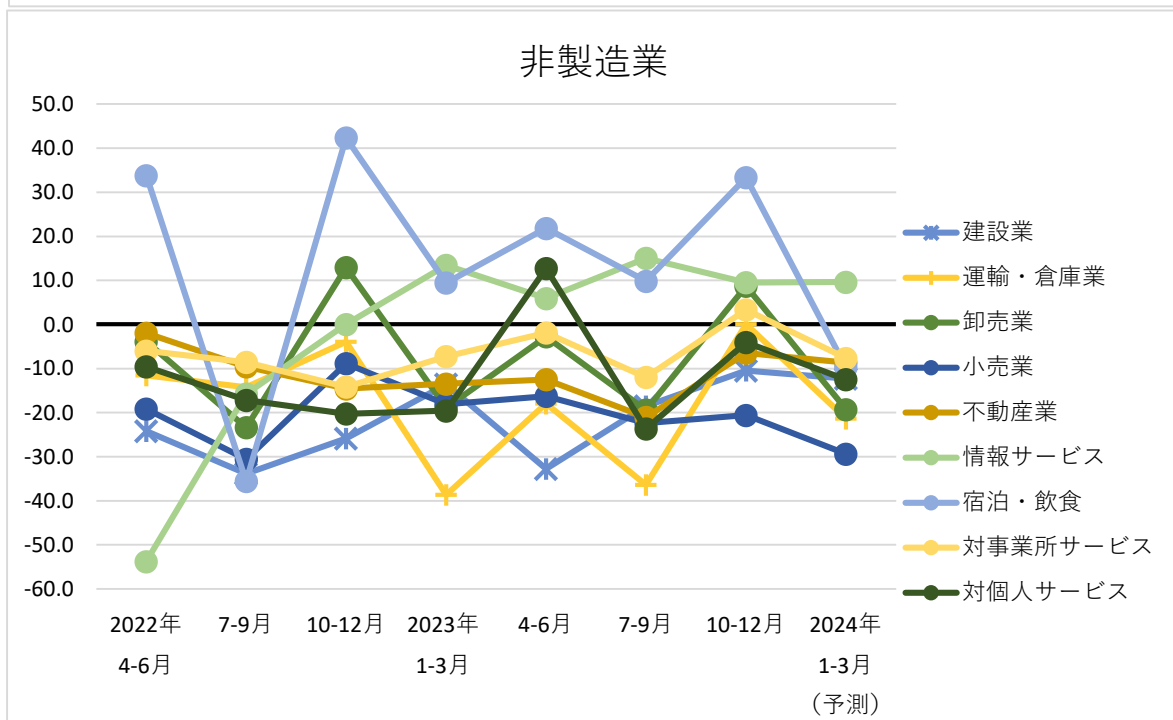
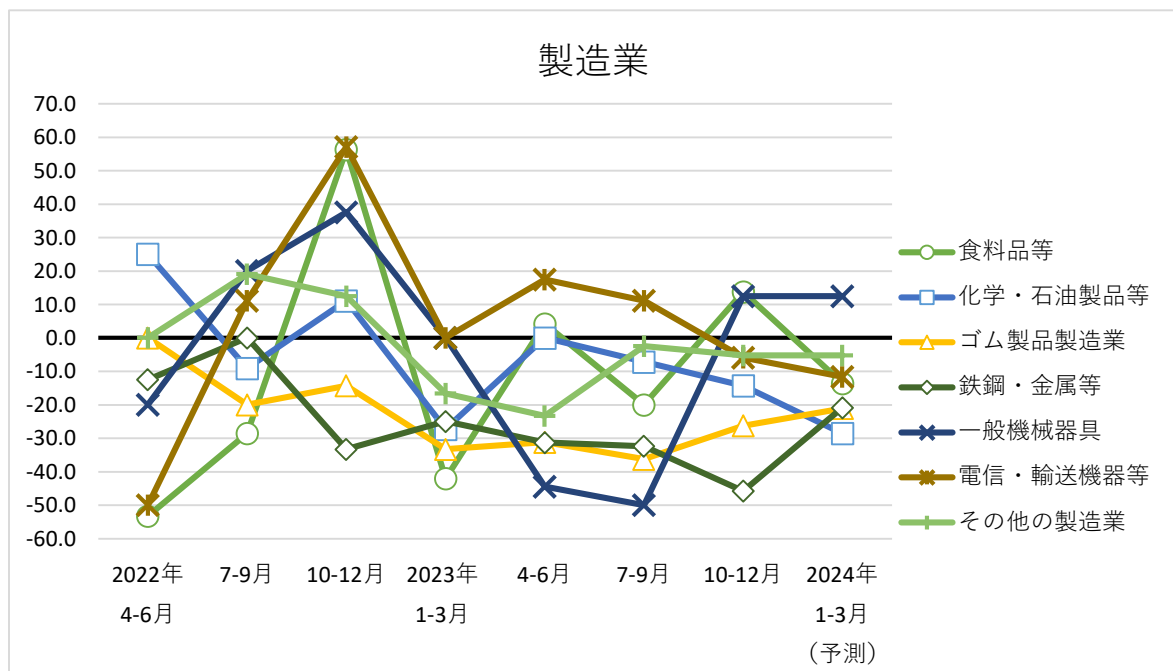
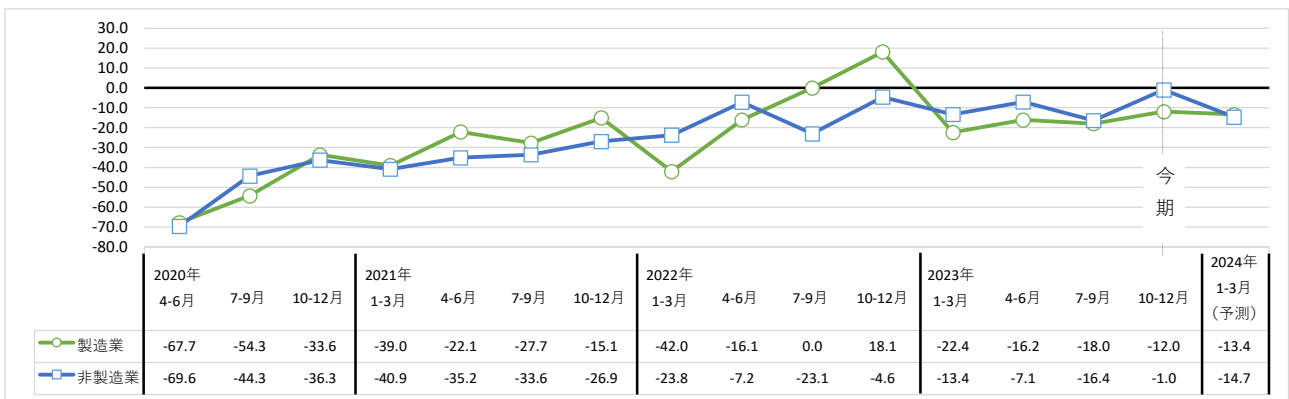
区分1	区分2	区分3	業況DI（上昇一下降）		
			2023.7~9	2023.10~12	2024.1~3 （予測）
全体			-17.0	-6.7	-16.1
規模別	大規模		-25.0	6.6	-26.7
	中規模		-12.2	8.7	-3.8
	小規模		-19.4	-20.4	-26.3
業種別	製造業		-17.4	-13.4	-17.6
		食料品等	-30.0	31.8	-18.2
		化学・石油製品等	-7.1	-14.3	-28.6
		ゴム製品製造業	-40.9	-26.3	-15.8
		鉄鋼・金属等	-18.9	-58.3	-37.5
		一般機械器具	-50.0	0.0	-12.5
		電信・輸送機器等	27.8	-11.7	-11.7
		その他の製造業	-12.5	-7.9	-5.3
	非製造業		-16.9	-4.7	-15.7
		建設業	-10.0	-14.1	-19.3
		運輸・倉庫業	-30.3	0.0	-21.4
		卸売業	-20.9	0.0	-14.0
		小売業	-33.0	-23.6	-32.4
		不動産業	-22.8	-13.1	-15.2
		情報サービス	20.0	-4.7	9.6
		宿泊・飲食	0.0	29.5	-11.8
対事業所サービス		-7.0	1.1	-6.6	
対個人サービス		-20.3	-2.1	-8.3	



(2) 生産・売上

「各四半期の生産・売上が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

\*各期の指標 (DI) = 「増加と回答」 (%) - 「減少と回答」 (%)

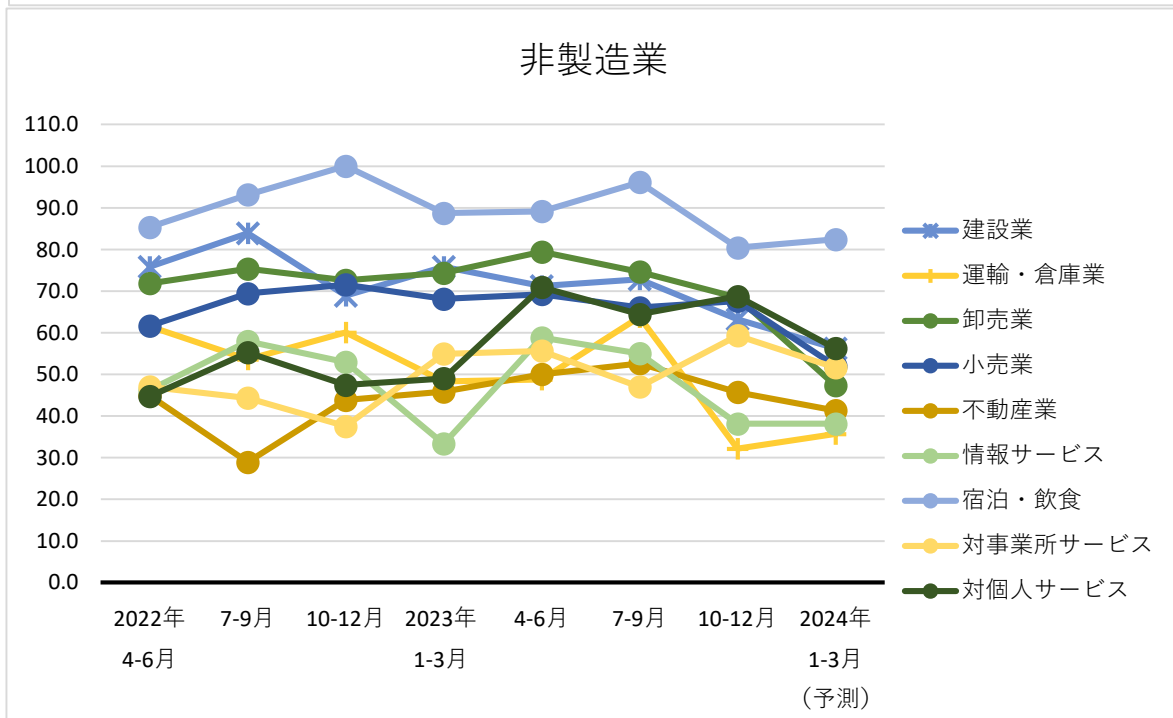
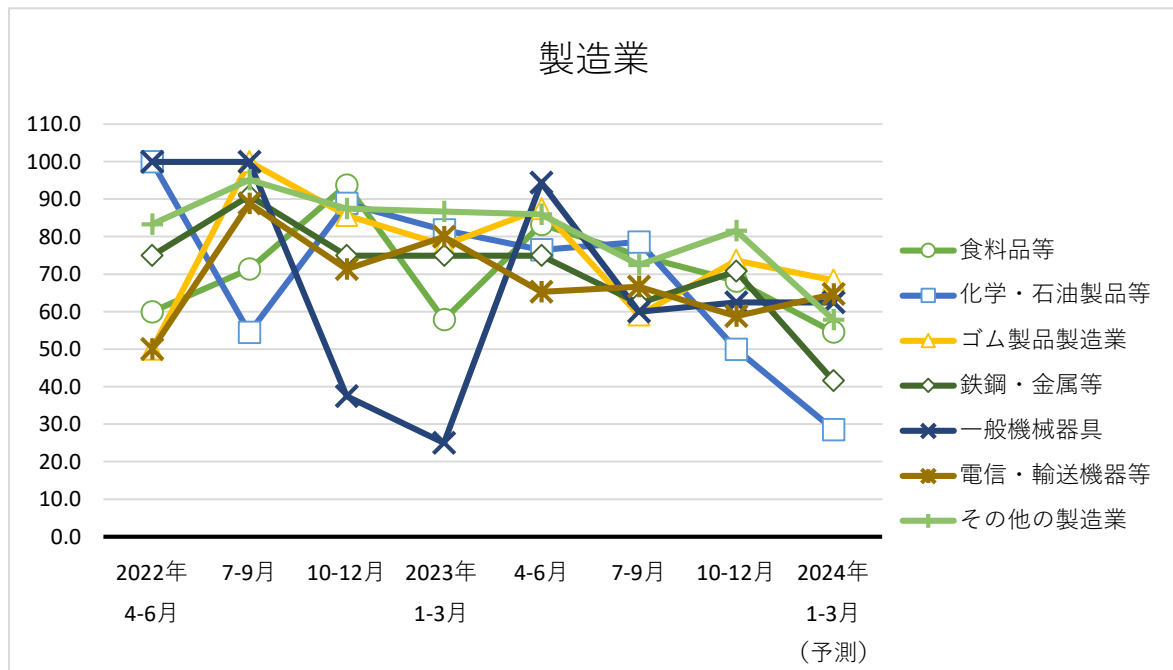
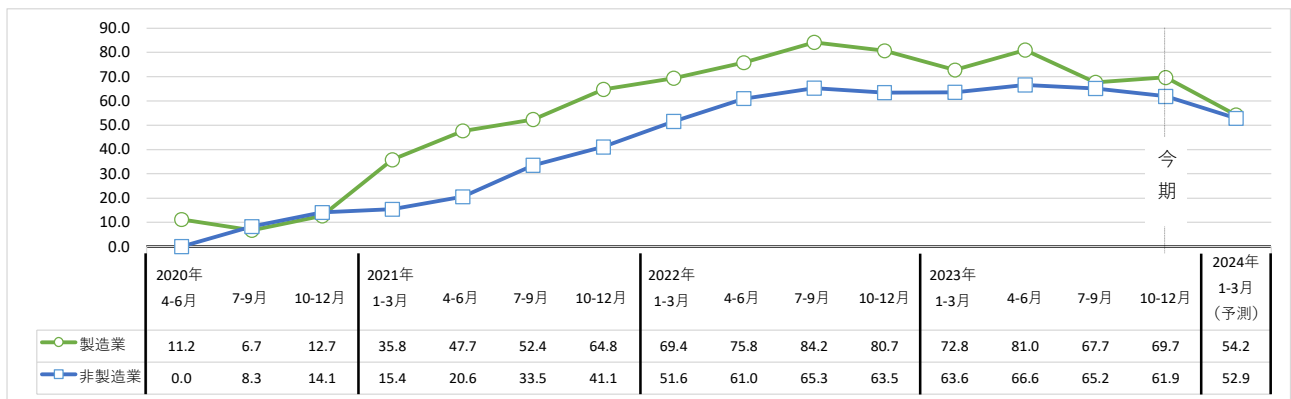


区分1	区分2	区分3	生産・売上DI（増加－減少）			
			2023.7~9	2023.10~12	2024.1~3 （予測）	
全体			-16.7	-3.5	-14.4	
規模別	大規模		-16.7	13.3	-20.0	
	中規模		-9.1	11.4	-2.8	
	小規模		-20.9	-16.8	-24.2	
業種別	製造業		-18.0	-12.0	-13.4	
		食料品等	-20.0	13.7	-13.6	
		化学・石油製品等	-7.2	-14.3	-28.6	
		ゴム製品製造業	-36.3	-26.3	-21.1	
		鉄鋼・金属等	-32.4	-45.8	-20.9	
		一般機械器具	-50.0	12.5	12.5	
		電信・輸送機器等	11.1	-5.9	-11.7	
		その他の製造業	-2.5	-5.3	-5.3	
		非製造業		-16.4	-1.0	-14.7
		建設業	-18.6	-10.5	-12.3	
		運輸・倉庫業	-36.4	0.0	-21.4	
		卸売業	-19.4	8.7	-19.3	
		小売業	-22.4	-20.6	-29.4	
		不動産業	-21.1	-6.5	-8.7	
		情報サービス	15.0	9.5	9.6	
		宿泊・飲食	9.8	33.3	-9.8	
		対事業所サービス	-12.0	3.3	-7.7	
	対個人サービス	-23.7	-4.1	-12.5		

### (3) 原材料・仕入れ価格

「各四半期の原材料・仕入れ価格が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

\*各期の指標 (DI) = 「上昇と回答」 (%) - 「下落と回答」 (%)

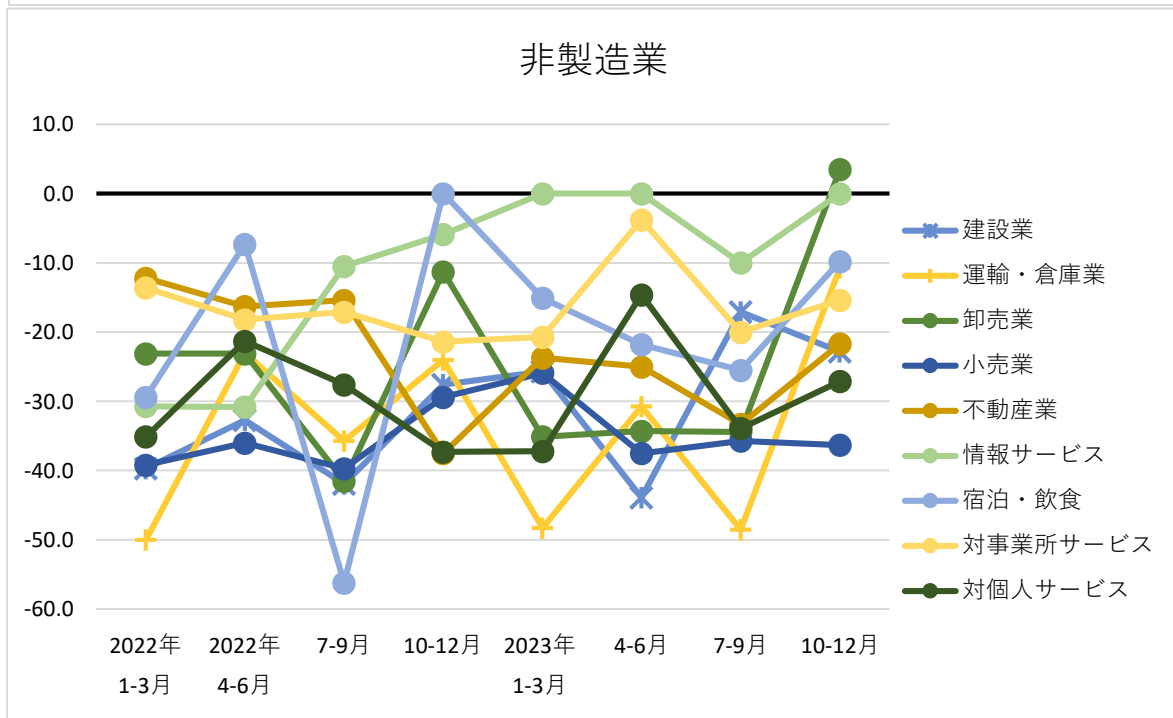
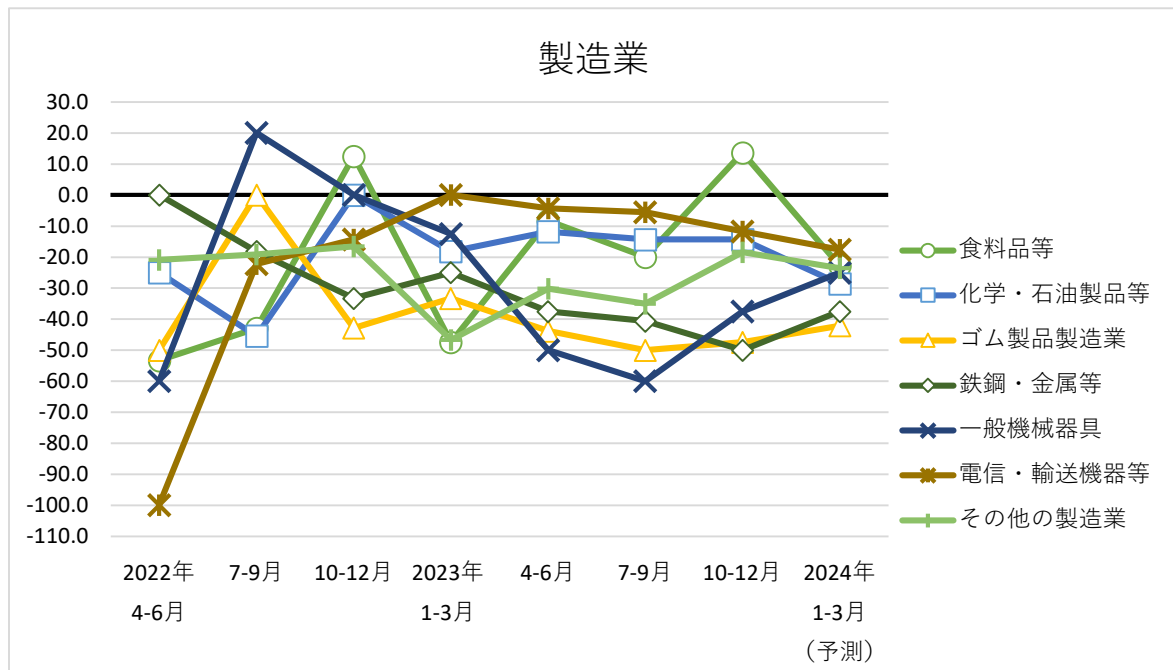
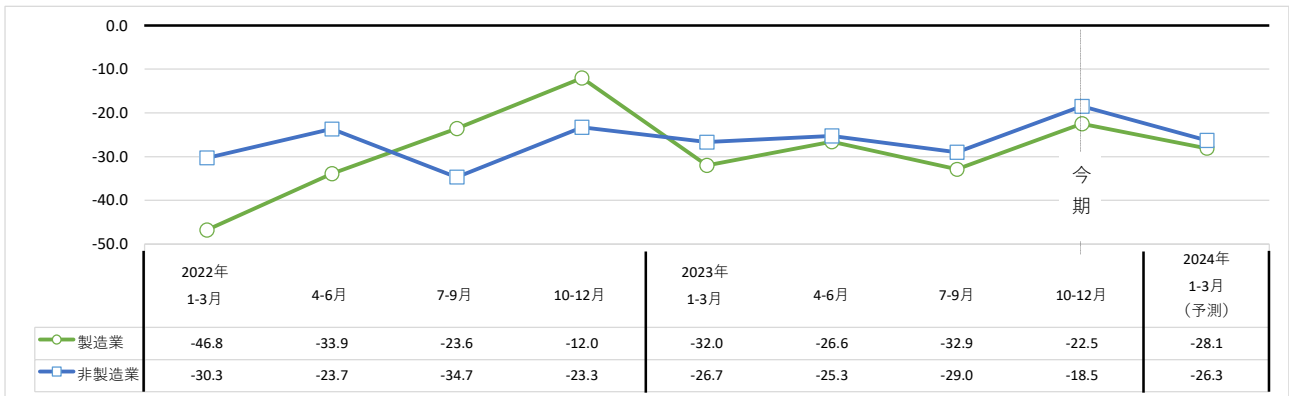


区分1	区分2	区分3	原材料・仕入れ価格（上昇一下落）			
			2023.7~9	2023.10~12	2024.1~3 （予測）	
全体			65.8	63.7	53.2	
規模別	大規模		33.4	53.3	60.0	
	中規模		68.2	66.1	56.7	
	小規模		65.3	62.0	49.9	
業種別	製造業		67.7	69.7	54.2	
		食料品等	75.0	68.2	54.6	
		化学・石油製品等	78.6	50.0	28.6	
		ゴム製品製造業	59.1	73.7	68.4	
		鉄鋼・金属等	62.2	70.8	41.6	
		一般機械器具	60.0	62.5	62.5	
		電信・輸送機器等	66.7	58.8	64.7	
		その他の製造業	72.5	81.6	57.9	
		非製造業		65.2	61.9	52.9
		建設業	72.8	63.2	56.2	
		運輸・倉庫業	63.7	32.1	35.7	
		卸売業	74.6	68.4	47.3	
		小売業	66.0	67.6	52.0	
		不動産業	52.6	45.7	41.3	
		情報サービス	55.0	38.1	38.1	
		宿泊・飲食	96.1	80.4	82.4	
	対事業所サービス	47.0	59.3	51.6		
	対個人サービス	64.4	68.7	56.2		

(4) 採算

「各四半期の採算が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

\*各期の指標 (DI) = 「好転と回答」 (%) - 「悪化と回答」 (%)

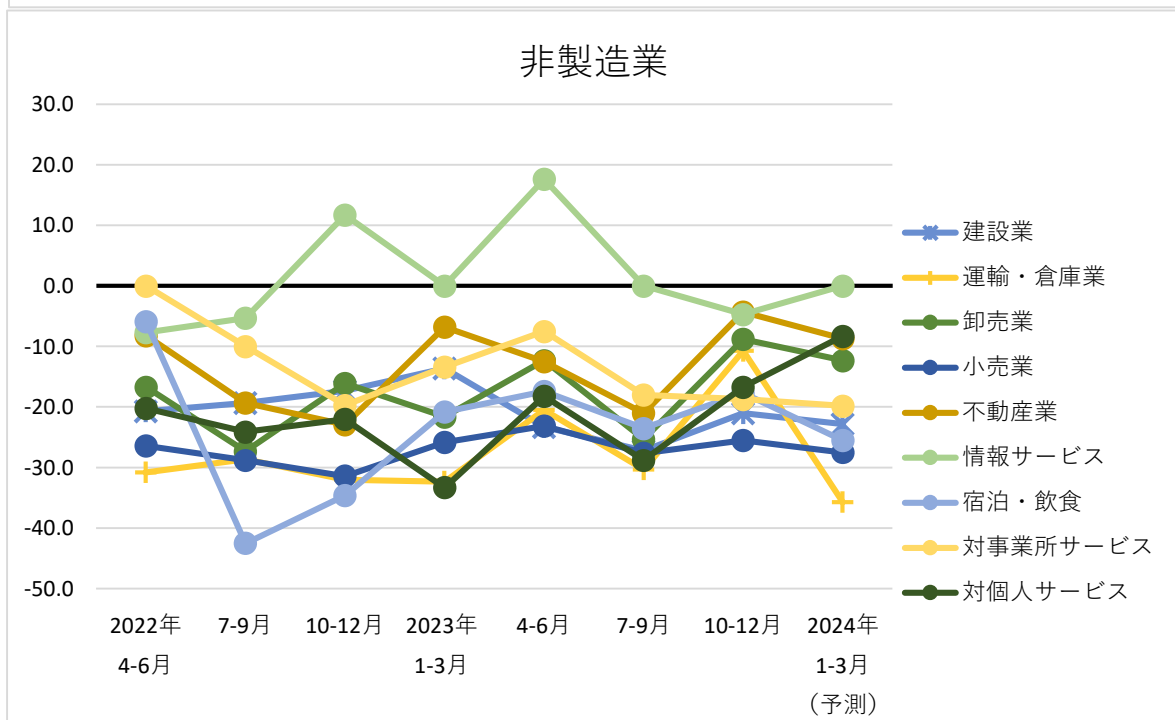
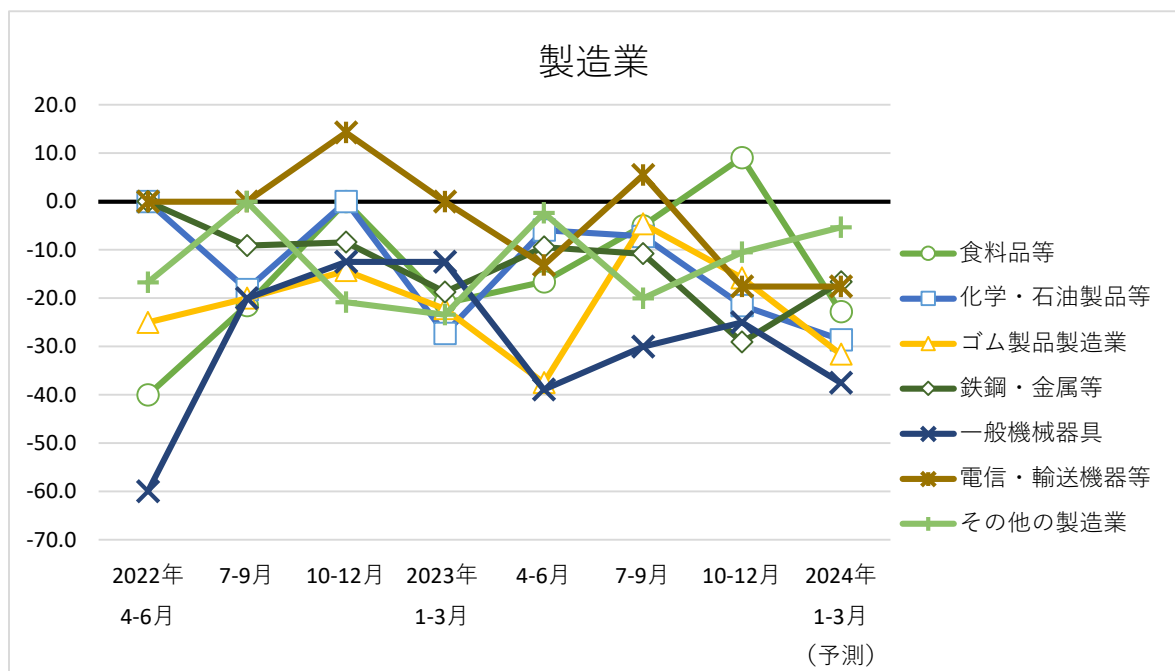
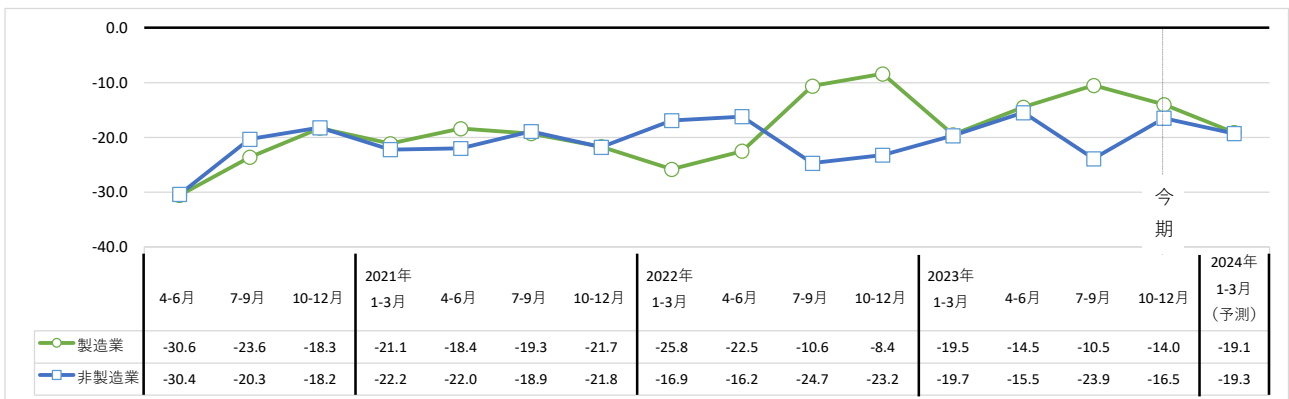


区分1	区分2	区分3	採算（好転－悪化）			
			2023.7~9	2023.10~12	2024.1~3 （予測）	
全体			-29.9	-19.4	-26.7	
規模別	大規模		-8.3	-13.3	-26.6	
	中規模		-22.8	-7.6	-13.2	
	小規模		-34.2	-29.8	-38.3	
業種別	製造業		-32.9	-22.5	-28.1	
		食料品等	-20.0	13.6	-22.8	
		化学・石油製品等	-14.3	-14.3	-28.6	
		ゴム製品製造業	-50.0	-47.4	-42.1	
		鉄鋼・金属等	-40.6	-50.0	-37.5	
		一般機械器具	-60.0	-37.5	-25.0	
		電信・輸送機器等	-5.5	-11.7	-17.6	
		その他の製造業	-35.0	-18.4	-23.6	
		非製造業		-29.0	-18.5	-26.3
		建設業	-17.1	-22.8	-26.3	
		運輸・倉庫業	-48.5	-10.7	-35.7	
		卸売業	-34.4	3.5	-29.9	
		小売業	-35.7	-36.3	-38.2	
		不動産業	-33.3	-21.7	-30.4	
		情報サービス	-10.0	0.0	-4.8	
		宿泊・飲食	-25.5	-9.8	-19.6	
	対事業所サービス	-20.0	-15.4	-17.6		
	対個人サービス	-33.9	-27.1	-20.8		

(5) 資金繰り

「各四半期の資金繰りが直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

\*各期の指標 (DI) = 「好転と回答」 (%) - 「悪化と回答」 (%)



区分1	区分2	区分3	資金繰り（好転－悪化）			
			2023.7~9	2023.10~12	2024.1~3 （予測）	
全体			-21.0	-16.0	-19.3	
規模別	大規模		8.3	13.4	-13.3	
	中規模		-16.1	-2.8	-12.5	
	小規模		-24.4	-28.6	-25.4	
業種別	製造業		-10.5	-14.0	-19.1	
		食料品等	-5.0	9.1	-22.8	
		化学・石油製品等	-7.2	-21.5	-28.6	
		ゴム製品製造業	-4.6	-15.8	-31.6	
		鉄鋼・金属等	-10.8	-29.1	-16.6	
		一般機械器具	-30.0	-25.0	-37.5	
		電信・輸送機器等	5.5	-17.6	-17.6	
		その他の製造業	-20.0	-10.5	-5.3	
		非製造業		-23.9	-16.5	-19.3
		建設業	-27.2	-21.0	-22.8	
		運輸・倉庫業	-30.3	-10.7	-35.7	
		卸売業	-25.3	-8.8	-12.3	
		小売業	-27.6	-25.5	-27.5	
		不動産業	-21.0	-4.3	-8.7	
		情報サービス	0.0	-4.7	0.0	
		宿泊・飲食	-23.5	-17.7	-25.5	
		対事業所サービス	-18.0	-18.7	-19.8	
	対個人サービス	-28.8	-16.7	-8.3		



## 第41回 神戸市内景況・雇用動向調査

### <結果報告書>

企画実施：神戸市経済観光局経済政策課  
〒651-0087 神戸市中央区御幸通 6-1-12

調査委託：株式会社東京商工リサーチ 神戸支店  
〒651-0087 兵庫県神戸市中央区御幸通 6-1-10